令和元年度（２０１９年度）産山学園便り

夢創造

令和２年２月４日（火）no.33　文責：上田

三日(月)は節分。ファーストの一・二年生の豆まきが行われました。子どもたちは、どんな心の鬼を退治するんでしょうか。

郡市工作展の作品を展示

先週末３１日（金)、郡市工作・楽焼展が行われました。今週、校長室前の東棟２階ワークスペースに入選作品が展示され、さながらギャラリーみたいです。どれも力作、創造性豊かな作品ばかりです。休み時間、作品を鑑賞していると、「ぼくの作品をみてください」「どこが工夫したところかな」「ここにたくさんの人が住んでいるんです」「へぇーっ。おもしろいね」「ガウディの建物みたいだね」など、会話も弾みます。図工の時間に熱心に作品づくりに取り組んだからでしょう、こちらからの声掛けがなくても、いろいろと話し出す子もいいます。各教室でも子どもたち同士で会話を弾ませているようです。

図工の作品づくりは、想像を働かせて活動する時間でもあります。一つの作品に、登場人物がいて物語が展開されるような、そんな面白さがあります。

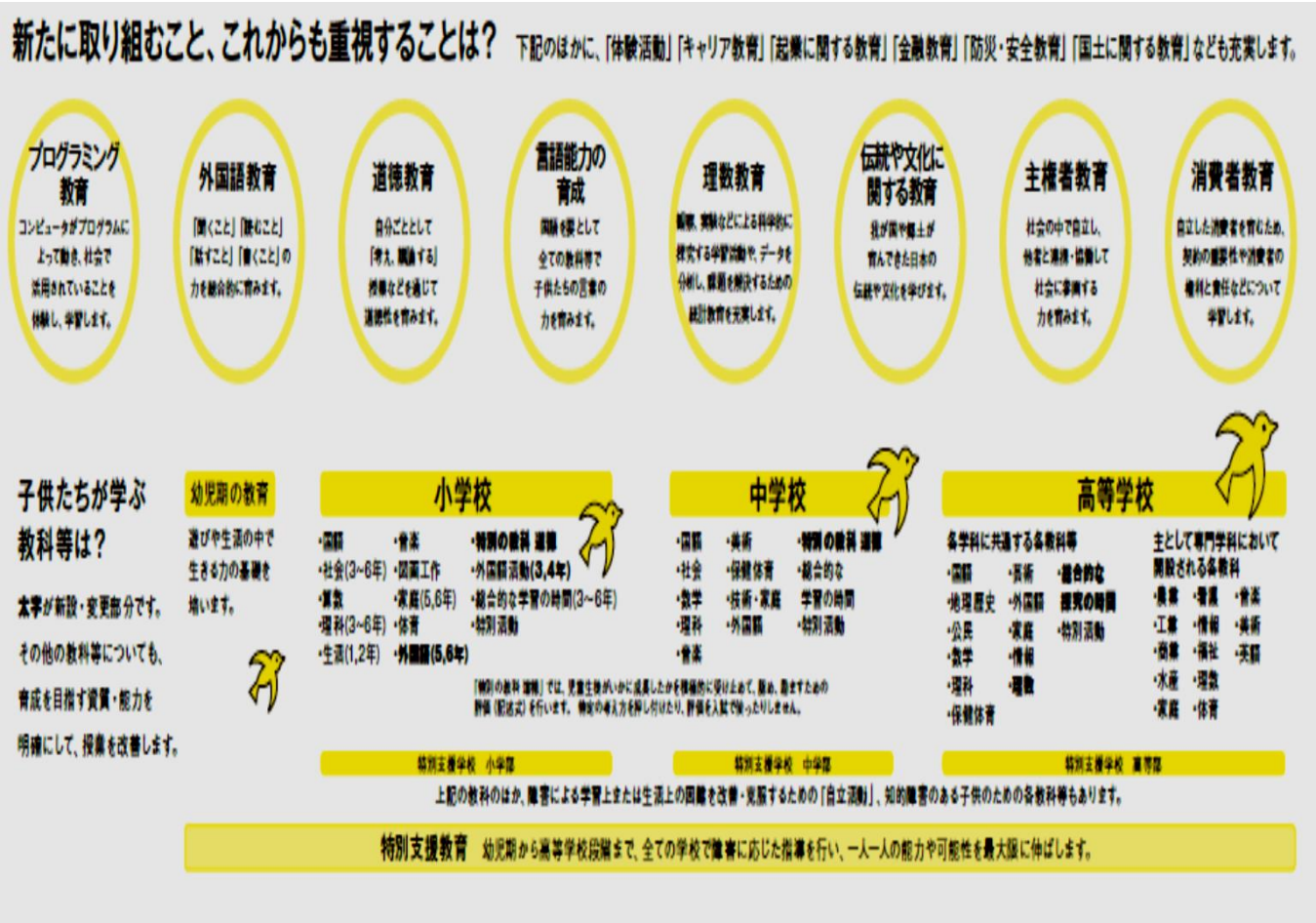
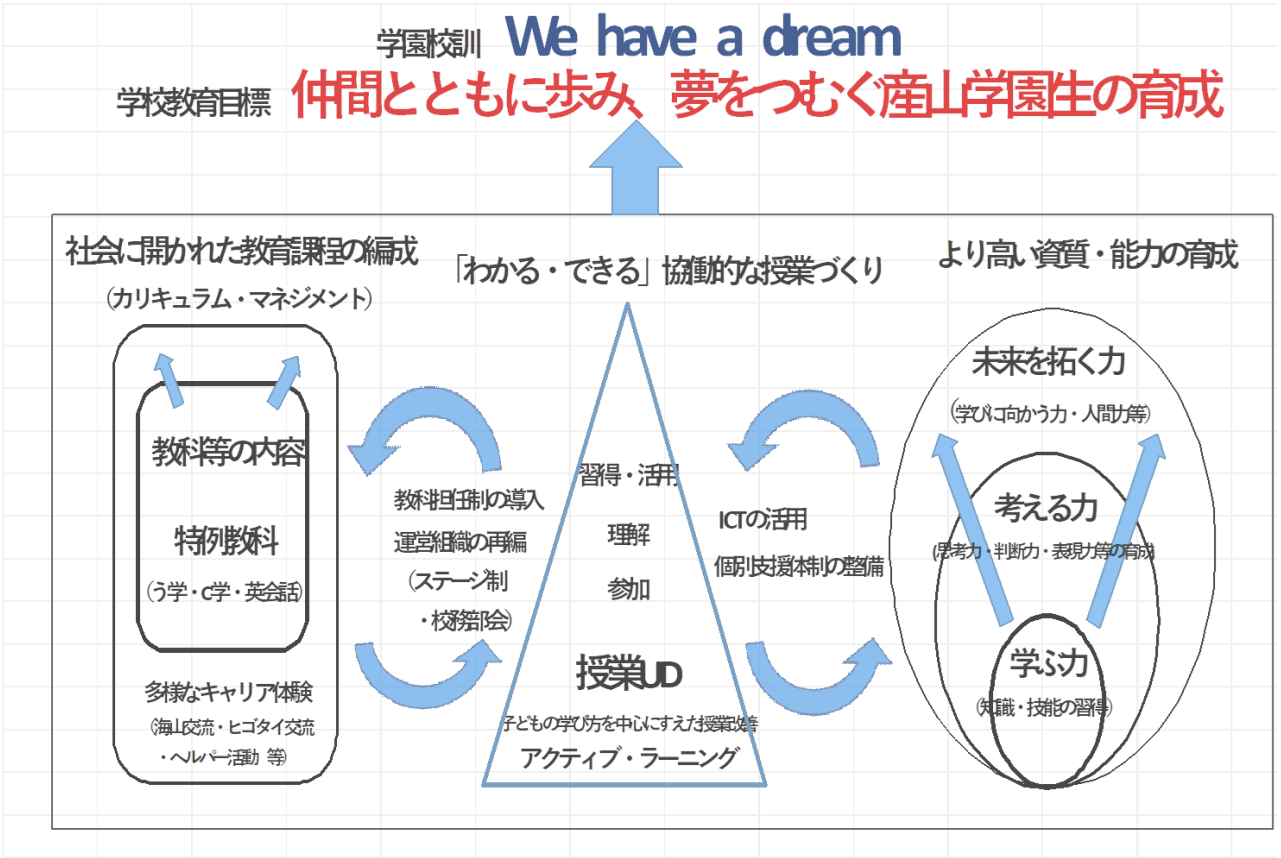
新学習指導要領の全面実施に向けて

昨年１２月、ＯＥＣＤの国際学力調査（ＰＩＳＡ）結果が報じられました。世界の 79 か国６０万人ほどが参加した今回の調査では、科学リテラシーや読解力など、グローバル化する社会で必要とされる学力が問われました。２００３年の調査後、“脱ゆとり”が言われたきっかけも、この学力調査でした。

さて、４月から前期課程で新学習指導要領による学習が実施されます。これまでの「何を学ぶか」はもちろんですが、「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」がさらに重視されることになります。これまでの２年間を移行期間と位置付け、そのための準備も進めてきました。

今回の学習指導要領の改訂には、現在の急激な社会変化に対応するための資質・能力の育成がその背景にあります。産山学園では子ども達に「学ぶ力」「考える力」「未来を拓く力」の資質・能力の育成を目指しています。裏面に保護者・地域向けに作成された文科省リーフレットも掲載します。ご覧ください。

【文科省リーフレット】



【産山学園グランドデザイン（令和元年度）】